



## SS JOURNAL

2024  
Vol.76

—誰もが自分らしく生きることのできる社会を目指して—

“おもい”をハッピーにかえて“ねがい”に届ける  
ぎふハッピーハッピープロジェクト2023～2024

ぎふハッピーハッピープロジェクトとは、社会問題に取り組むNPO団体や福祉団体などと企業が協働し、プロジェクトや商品の売り上げの一部が寄付となる仕組みを通じて、たくさんの人たちが団体にハッピーを届け、岐阜を「ありがとう」「よかったね」があふれる街に育てる地域共同プロジェクトです。

一般社団法人サステナブル・サポートは、2023年度より・株式会社坂口捺染様・株式会社スパダ様・株式会社文化社様と協働し、いただいたご寄付は若者支援の取り組みに活用させていただいています。また、新たに、柳ヶ瀬プロレスメディアス様と覚書を結び保護猫の活動にとご寄付をいただいています。

今回、2023年度の取り組みについて、5月8日に坂口社長にインタビューさせていただきましたので、その内容を紹介します（以下、敬称略）。

— 今回、岐阜大学の学生とオリジナルトートバックを作成・販売し、販売額をぎふハッピーハッピープロジェクトを通して寄付をするというプロジェクトに取り組まれました。学生との取り組みはいかがでしたか？

坂口氏 寄付をするには商品が売れなければならないけど、大学生にはまずは商品売ることを大変だということを実感してもらった。当初は思うように売れなかったため、売れない原因を探り、売れるような工夫をし、人とつながるという経験を積んでもらった。結果的に7万円の寄付につながったが、ただ寄付をするだけでなく、彼らにそうした経験を積んでもらうことが今後の彼らの職業人生で生きていくと思っている。

— 私たちは若者の居場所（BA-SE）づくりをしていて、今回いただいたご寄付をこの居場所づくりに充てさせていただきます。この居場所に来る今働きたいけどなかなか働けていない、あるいはなかなか一步を踏み出せない若者たちにメッセージをお願いします。

坂口氏 若者に伝えたいのは「飛び込む勇氣」で、難しそうに思えても、ちょっとしたことをどんどん積み重ねていけばいいと思う。コミュニケーションをとるのが苦手であれば、まずは毎日1回笑顔を見せる、1回目を合わせてみる。その積み重ねが半年経てば、笑顔を見せることが当たり前になり、目を合わせることも当たり前になる。そうすればもう飛び込んでいるのと同じ。BA-SEがそんな勇氣をもって飛び込める居場所になってほしい。

— ありがとうございます。





KICHOU

3rd

Anniversary

■就労継続支援B型事業所 アリー 〒500-8008 岐阜市玉井町36番地1 TEL: 058-201-5990 MAIL: alley@sus-sup.org

アリーが運営しております【蔵のある町家の宿“帰蝶”】が、5月31日に3周年を迎えることができました。ありがたいことに、毎月たくさんのご予約のご連絡をいただき、中にはキャンセル待ちをしてくださるお客様もいらっしゃるほどに成長することができました。これもひとえに皆様の温かいご支援とご愛顧の賜物と心より感謝いたします。ご宿泊に向けて、ベッドメイキングやトイレ・お風呂掃除、タオル・シーツ類のクリーニング等の清掃作業を毎週利用者さんとアリーのスタッフで取り組んでいます。中には清掃作業を苦手とする利用者さんもいらっしゃいますが、数多くの清掃箇所の中から、自分にできる作業を見つけ一生懸命取り組んでくださっています。また、もっとこうした方が良いのではないかとスタッフ以上に気にかけてくださる利用者さんもいらっしゃいます。お客様がお帰りの際には、「すごく充実した時間になりました。」「また来ます。」と声をかけてくださることもあり、毎週お客様のことを想って準備している利用者さんの成果となっています。これからも、お客様にとって帰蝶が旅の思い出に残るような特別な場所となれますよう、また、利用者さんにとって誇れる場所であるよう、より一層の努力を重ねていきたいと思っております。

## OBOG交流会を 行いました!



5月4日(土)にOB・OG交流会を行いました。午前中は現利用者さんとの合同スポーツ大会! 体育ルームにて、バドミントンや卓球など、皆で一緒に汗を流しました。午後からはノックス岐阜にて、スタッフ一押しのオードブルを囲みながらそれぞれの仕事の苦労をねぎらい合いました。卒業生だからこそ、働いているからこそ、話せることがあるものですね! ノックス岐阜の就労定着支援では、毎年初夏と初冬頃にこうしたイベントを実施しています。定着メンバーの皆さん、次回の開催もお楽しみに!



Have a Fun-Filled Holiday



## 家族ができました

シャンツェが運営する忍者ねこカフェ 猫影から嬉しいお知らせです! 4月から続々と忍者ねこ達の譲渡が決まっています♪モフくん、みのりちゃん、ちゃこちゃん、ルイボスティちゃん、こあらくん、ふくちゃん。計6匹の猫さんが新しい家族に出会い、幸せを掴んでいます! 日頃から作業の一環として、一生懸命猫達のお世話をしてくれている利用者さんにインタビューをさせていただきました。

- 利用者Aさん 「嬉しい気持ちと寂しい気持ちが半々です。幸せになってくれたら嬉しいです!」
- 利用者Sさん 「人が怖かった子が少しずつ慣れてきて撫でさせてくれるようになって、新しい家族を見つけられたことが凄く嬉しいし、やりがいを感じました!」



**ぎふ!**  
**キャリア**  
Gifu Career Step Center

キャリアサポートスペース  
**BA-SE**  
ベース

## ～美殿町から長住町へ～

ぎふキャリア&BA-SEは2024年5月末をもって岐阜市美殿町から引っ越し、本部のある岐阜市長住町で6月3日より活動を再開しました。

美殿町では地域清掃に行く地域の方々からねぎらいの言葉をかけていただくことも多く、大変お世話になりました。長住町でのぎふキャリア&BA-SEの初日は、5名の利用者さんが来所してくれました。なかには初めて会う人もありましたが、ニムトやUNO、文字ぴったんといったアナログゲームで遊びながら交流を深めていました。場所は移転しても、ぎふキャリア&BA-SEは「働くことに悩むすべての若者」にとって、居心地の良い居場所として継続していきたいと考えています。



■ぎふキャリア&BA-SE 〒500-8175 岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階 TEL : 080-4730-0092 MAIL : hello@gifu-career.com

## 毎週火曜日開催 「ミニ講座」のご紹介

【ぎふ就職氷河期世代応援プログラム】では、毎週火曜日14～15時にミニ講座を開催しています。

第1週と第3週は「自己理解プログラム」。就職活動の基礎やビジネスマナーを学びつつ、仲間同士でこれまでの経験や培った知識をシェアする機会となっています。

第2週と第4週は「グループワーク」。希望される方が集って、仲間とのひとときを過ごされています。第2週はゲームなどを通して“ワイワイ”する時間。第4週は、じっくりと相手の話に耳を傾け語り合う時間。回を重ねるごとに仲間意識が強くなっているのを感じます。自分らしく生きるきっかけとエネルギーを蓄える場になりつつあるようです。輝ける場を見つける力がつかますように！



## キャリア/プロ 8年目スタート!!

8年目のキャリア支援プログラム『キャリアプロ』スタートしました！『キャリアプロ』は、「働くイメージがわからない」「コミュニケーションを取ることに不安がある」「そもそも就活って何をすればいいのかわからない」など働くことや学生生活にちょっとした困り感のある学生を対象としたプログラムです。

6月は「就活でおさえたいビジネスマナー」を実施しました。マナーは形を覚えればいつでもどこでも活用ができます。ときにはうっかり忘れてしまうこともありますが、学生のうちに繰り返し学ぶ機会をもつことは、必ずプラスになります。マナーは相手をおもいやって、仕事がしやすい環境を作り出すスキルです。自分の中身を相手に知ってもらう前に、自分を整えて働く一歩にしてほしいと思います。

■キャリアプロ

〒500-8175

岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階

TEL : 070-5579-7747 MAIL : career-pro@sus-sup.org



ぎふ  
就職氷河期世代応援プログラム

メールはこちらから▶

お問い合わせは… TEL:058-216-0520  
MAIL: info@sus-sup.org



シンポジウム開催します

「働きづらさ」を  
乗り越えるために、  
いま社会に  
求められるものとは

WORK! DIVERSITY  
実証化モデル事業

WORK!  
DIVERSITY  
プロジェクト  
in 岐阜

第二部では、トヨタ自動車(株)から阿部和由氏と半田達郎氏、ソフトバンク(株)から横溝知美氏、ヒトノネから篠田花子氏をお迎えし、ファシリテーターのカンダまちおこし(株)田代達生氏の進行の元、多様な働き方の実現に不可欠な、企業のダイバーシティ&インクルージョンの取り組みについて、意見交換を行います。

JR岐阜駅に隣接するじゅうろくプラザホールにて実施します。シンポジウムの詳細、お申込みは下記ホームページをご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしております！

★シンポジウムの詳細、お申込みはこちらから  
[https://workdiversitygifu.com/news/0711\\_symposium/](https://workdiversitygifu.com/news/0711_symposium/)



■WORK! DIVERSITYプロジェクトin岐阜  
〒500-8175  
岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階  
TEL : 058-216-0520  
MAIL : workdiversitygifu@sus-sup.org

【7/11 シンポジウムを開催します！】

「WORK! DIVERSITY プロジェクト in 岐阜」では、7月11日(木)にシンポジウム「働きづらさ」を乗り越えるために、いま社会に求められるものとは」を開催します。

ひきこもり・ニート・難病を抱える人・がんサバイバー・LGBTQ など、働きづらさを抱える人々を支援し、多様で柔軟な働き方を実現するために、社会に求められることを考えます。

第一部では、衆議院議員野田聖子氏や岐阜市長柴橋正直氏、日本財団竹村利道氏、ダイバーシティ就労支援機構村木太郎氏をお迎えし、ワークダイバーシティ実現に向けて、制度化のために必要な動きを、国や自治体など様々な視点から議論をおこないます。

WORK! DIVERSITYプロジェクト in 岐阜

シンポジウム開催 **参加無料**

7/11 木

15:30~17:30

〈会場〉じゅうろくプラザ(ホール)  
岐阜市橋本町1丁目10番地11

「働きづらさ」を  
乗り越えるために、  
いま社会に  
求められるものとは

WORK! DIVERSITYプロジェクトとは  
ひきこもりやニート、難病者、がんサバイバー、LGBTQなど、多様な理由で働くことに不安を抱える方々を支援するプロジェクトです。本シンポジウムでは、プロジェクトの実践報告および制度化に向けた今後の展開について考えます。

— 第一部 —  
ワークダイバーシティ実現に向けて  
〈パネリスト〉



日本財団 公益事業部  
シニアオフィサー  
竹村 利道氏



一般社団法人ダイバーシティ  
就労支援機構 理事長  
村木 太郎氏



衆議院議員  
野田 聖子氏



岐阜市長  
柴橋 正直氏

— 第二部 —  
企業が考える  
真のダイバーシティ&インクルージョン  
〈パネリスト〉



一般社団法人ヒトノネ  
代表理事  
篠田 花子氏



ソフトバンク株式会社  
コーポレート統括 CSR本部 CSR企画統括部  
CSR企画2部 多様性・情報化推進課  
横溝 知美氏



カンダまちおこし株式会社  
代表取締役  
田代 達生氏



トヨタ自動車株式会社  
新事業企画部 事業開発室/  
安全健康推進部  
阿部 和由氏



トヨタ自動車株式会社  
新事業企画部 事業開発室/  
モノづくり開発統括部 主幹  
半田 達郎氏

プログラム

15:30 オープニング  
岐阜市WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業  
実践報告

15:45 パネルディスカッション  
第一部  
ワークダイバーシティ実現に向けて  
ワークダイバーシティ実現に向けて、制度化の  
ために必要な動きを国・自治体等さまざまな視点  
から議論します

第二部  
企業が考える  
真のダイバーシティ&インクルージョン  
多様な働き方の実現に不可欠な企業のダイバー  
シティ&インクルージョンの取り組みについて、  
岐阜市および全国の現状をお伝えします

17:25 エンディング

※プログラムは都合により変更になる可能性があります。  
予めご了承ください。

お申し込みの詳細は  
裏面へ  
申込み  
メー 7/5 金

お問い合わせ

一般社団法人 サステイナブル・サポート  
「ワークダイバーシティプロジェクトin岐阜」事務局  
workdiversitygifu@sus-sup.org  
058-216-0520 (月曜日~金曜日 9:00~18:00) ワークダイバーシティ 岐阜



一般社団法人 サステイナブル・サポート  
〒500-8175 岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階  
代表TEL : 058-216-0520 代表MAIL : info@sus-sup.org



SS HP